

ようこそ、恵庭へ!

恵庭小学校の宮野光彦校長先生はこの春、江別から赴任されました。なんと20年近く前にも恵庭小に勤務されていたことがあるそうです。

●記者
恵庭小5年 奥美遊 田口将



Q 恵庭小学校のいいところは?
A 子どもたちがみんな素直で明るく、元気があるところだと思います。一番感心したのは、人のお話をしっかりと聞けるところです。
Q 恵庭小学校でやりたことはなんですか?
A できるだけ多くの子ども達とお話をする事です。休み時間は校長室を開放してだれでも入っ

ていようにしています。けん玉や、お手玉もたくさん用意していますので、皆さん遊びに来てください。



Q 恵庭の町の印象は?
A 19年前にも恵庭小学校に勤務していました。そのころと比べると、道路も建物もきれいなりました。特に駅の裏側が立派になっていてビックリしました。



分、全、生徒、校生、と仲良くなれます。

Q 恵庭の町で行きたいところは?
A 道の駅は気になっていたのでもう行って来ました。漁川ダムは子ども頃はピクニックに行っていた思い出があり、また行ってみたいです。
Q 校長先生の趣味はなんですか?
A 写真を撮ると、旅行です。のんびりと過

ぐすのも好きです。
Q 何時から何時まで学校にいるのですか?
A 朝は7時50分に来ます。赴任したばかりの今はいろいろと忙しいので、帰りは夜8時か9時頃です。

Q 「校長先生」になつてどうですか?
A 自分のクラスがない

長崎県から来ました。バスケットでもよろしく!



恵庭小5年 松本 晟太郎

僕はカステラ&角煮&チャンポン&坂本龍馬で有名な蒸し暑い長崎県から来ました。好きなことはバスケット(前の学校でもしていたので、さっそく恵庭小のバスケット部に入りました)と歴史です。学校では長崎弁が出ないように気をつけて話し

ていますが、何を言っているかわからないことがあるかもしれません。早く恵庭になじめたらと思っています。よろしくお願ひします。



恵庭小3年 松本のりな

好きなことは走ることと、サッカーです。字を書くこと、習字も大好きです。大人よりも字が上手になるのが目標です。冬は冬眠してしまうので、寒いのは苦手なので不安ですが、恵庭での生活に早くなれたらと思います。
 恵庭は広い公園がたくさんあり、大好きなおいしい濃厚なソフトクリームがあるので、とても良いところだと思います。私は気にせず、めっちゃ長崎弁で話しますよ!お友達になつてくださいなね。よろしくお願ひします。
■イマドキは方言がカッコイイです。みんなに長崎弁を教えてね!

ニューヨークで学び、4月に帰ってきました映像作家 山田裕一郎さん



わたしは、ニューヨーク州立大学大学院で映像制作を学びました。最近では、リベラチ財団賞受賞とM&Cモリス財団フェローとしてダンスの制作過程を映像記録した『タイム・トゥ・ダンス』の制作や、パーキンソン病をテーマに作った短編ドキュメンタリーが、全米パーキンソン病財団などで上映されました。現在は恵庭市に戻り、『ヤマダアートフィルム』として地域社会やダンスの映像を制作し、地域や芸術の活性化に貢献したいと考えています。

さん。現在は恵庭の活性化に役立ちそうな映像を撮っておきたいと、市内の商店や団体などの撮影をしています。

先日はいにわ子ども新聞の記者活動も取材を受けました。その様子も、『ヤマダアートフィルム』のホームページで近日公開予定だそうです。

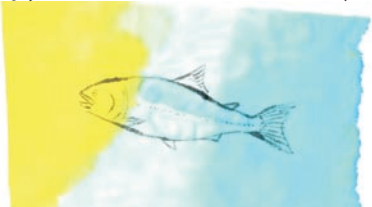


取材されちゃった子ども記者!
■ 校長先生に取材するだけでも緊張するの、それをまた取材されたので、とても緊張しました。(奥美遊)
■ カメラがかっこいいと思いましたが、恥ずかしかったけど、がんばりました。(田口将)
■ 山田さんは、ダンスパフォーマンス撮影を最も得意とするそうです。

連載コラム 6月 狩猟ホシノウ



よい季節になりました。野山の花は、おしみもなく、これぞホッカイドウ、と全部いっぺんに咲くという気前のよさです。こうなると、心も体も、わきたってきて、ムラムラしてきます。告白しますと、昔はガラガラしてきたんですが、いまはムラムラなのです。



ここは、海がちかい、きれいな川が何本もある、沼も点在しているというめぐまれた土地です。釣りにはベストです。さっそく竿を片手に海岸に出撃します。ターゲットはサクラマス。生まれた川で産卵するために岸寄りしてくる。そこをねらいます。今年5回は5回出撃して、いまのところゼロ。去年なんか20回くらいやってゼロ。その前の年もゼロ。ゼロ行進がつづいていきます。これって、結構

しんどい。釣りたい、けど釣れない。つまり自分の欲望が満たせない。モヤモヤがずうっとつづくのです。

もうサクラはやめじや。何度竿をへし折りそうになったことか...。ところが、季節になると、やっぱり出かけてしまうのです。いっぴきでいい、それを釣ったら目標が達せられる、それまでがんばる、と自家中毒的決心をするのです。あれこれ工夫し、過去の失敗もそうざらいで反省して活かします。けど、釣れない...。い

まの心境は、もし釣れたら、この紙面に3回くらい連続でそのあれこれを書いておもしろい。みなさんにここで約束して、それをバネに羨かっている狩猟ホシノウをふるいたたせ、がんばろうという魂胆なのです。

●記者 田口 幸

アメリカで6年間映像制作を学び、今年4月から実家のある恵庭で『ヤマダアートフィルム』という会社を設立した山田

【森厚氏】
 第47回地上文学賞、小説「AKARA」で第52回農林文学賞を受賞。道新文化センター(札幌)「教室で仕あげる掌篇小说」講座を担当。